

# 31300 顔面刺激試験装置



## ユニークかつ実績ありの三叉神経研究向け測定機器！

顔面における熱/機械刺激の過敏性を測定する装置で、三叉神経等の研究にご利用いただけます。

三叉神経痛は我が国において10万人あたりおよそ4~5人が発症し、50歳以降の女性に多く見られる病気です。本製品はその前臨床研究において顔面刺激を与え、痛覚を測定する数少ない装置です。Fehrenbacher、Henry、Hargreavesが開発された手法で、世界中の研究で広く採用されております。

本製品は非侵襲で鼻毛を剃る必要がないため、動物への不快感や実験中の動揺を抑えられます。機械刺激、熱刺激いずれにも対応しております。

PCと接続して、専用のソフトウェアでリアルタイムに測定・解析します。最大16ケージまで同時に測定ができるため、実験時間の削減ができます。データは数値およびグラフィック形式で表示可能で、スプレッドシート形式で保存し、他のソフトで分析することもできます。



熱刺激アダプター

機械刺激アダプター

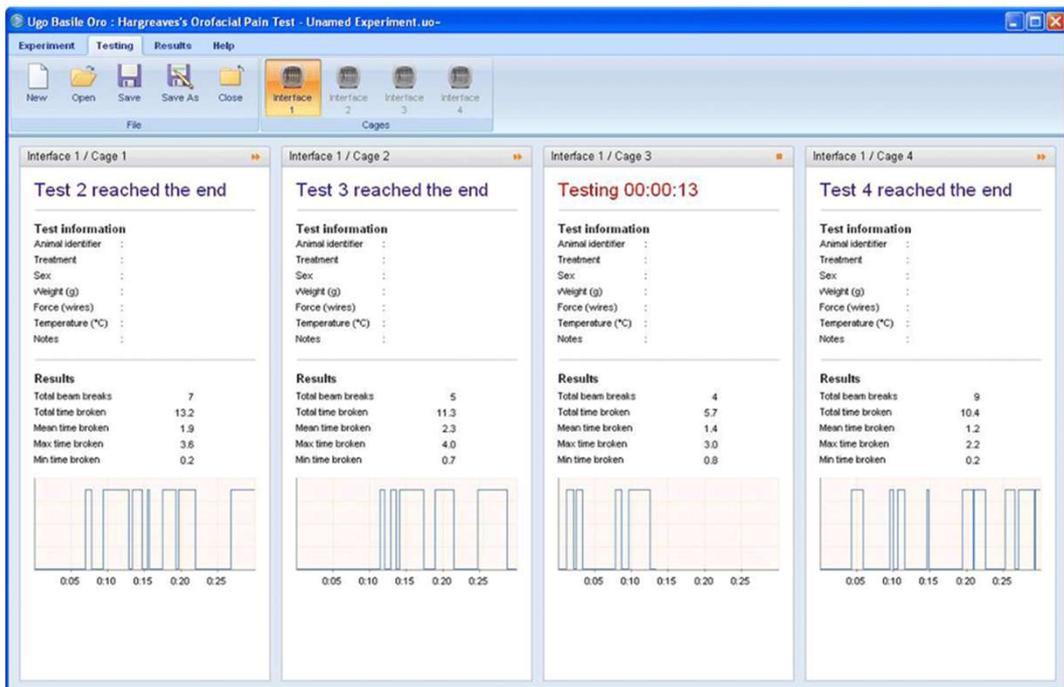
## 標準構成

- 電子ユニット
- 刺激装置付きケージ
- 循環装置付き恒温水槽
- 温水分配装置 (31320、31340のみ)
- USBメモリー (ソフトウェア同梱)
- ペダルスイッチ
- 電源

## 仕様

熱刺激温度	室温~70°C
機械刺激段階	ブランク + 3段階
重量 (全体)	13 kg (31300)、23kg (31320)、38kg (31340)

型式	品名
31300	顔面刺激試験装置(ラット用ケージ1つ)
31320	顔面刺激試験装置(ラット用ケージ2つ)
31340	顔面刺激試験装置(ラット用ケージ4つ)
<b>オプション</b>	
31300-UBC12	1年延長保証 (31300)
31300-UBC24	2年延長保証 (31300)
31300-001	顔面刺激試験装置用4ケージコントローラ
31300-002	顔面刺激試験装置用ラットケージ (刺激アクセサリ付き)
31300-003	顔面刺激試験装置用恒温槽 (ヒート)



ソフトウェアによる解析画面



オプションでマウス用アダプターもございます。